

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第1グループ(百合丘・東百合丘・千代ヶ丘)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	麻生区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	1 百合丘こども文化センター ①年間延べ利用者数	32,158人	②年間延べ利用団体数	840団体
	2 百合丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	401人	②年間延べ利用者数	18,344人
	3 西生田小学校わくわくプラザ ①登録者数	393人	②年間延べ利用者数	18,973人
	1 東百合丘こども文化センター ①年間延べ利用者数	24,051人	②年間延べ利用団体数	765団体
2 長沢小学校わくわくプラザ ①登録者数	258人	②年間延べ利用者数	11,813人	
	3 南百合丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	363人	②年間延べ利用者数	14,041人
	1 千代ヶ丘こども文化センター ①年間延べ利用者数	29,922人	②年間延べ利用団体数	770団体
2 金程小学校わくわくプラザ ①登録者数	280人	②年間延べ利用者数	10,630人	
	3 千代ヶ丘小学校わくわくプラザ ①登録者数	344人	②年間延べ利用者数	12,303人
	収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 160,418,356 2 支出 人件費 139,679,522 事業費 10,004,273 事務費 12,414,664 その他 141,510 合計 162,239,969 3 差引 -1,821,613		
サービス向上の取組	こども運営会議、保護者懇談会、近隣町会・自治会、利用団体等、日常の利用者や地域との良好な関係を保ちながら利用者ニーズを把握し、運営に反映させている。また、グループ単位のスケールメリットを活かした交流事業等を実施している。			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 昨年度から実施しているグループ合同行事「麻リンピック」では、オリンピックに模して趣向を凝らした様々な競技(ゲーム)を実施し、学校や学年を超えた交流を図ることができた。百合丘こども文化センターでは、祭りの実施の際、来館者アンケートで希望調査を行い、子供実行委員会が祭りの内容を決定し、準備・運営に携わったり、中学生実行委員の自主企画により毎月スポーツ大会を行うなど利用者の自主性を促す取組みが行われている。千代ヶ丘こども文化センターの「ちよこぶんまつり」では、昨年度に引き続き参加者が1000人を超え、自治会や中学校等のボランティア参加もあり、地域の行事、交流の場として定着している。また、乳幼児親子対象の「ゆりっこサロン」「リリーキッズ」を定例的に実施し、乳幼児親子支援の充実を図っている。事業計画、仕様書のとおり事業が実施されており、年間延べ利用者数は昨年度と比べ4.8%増加している。わくわくプラザにおいても適切に児童の受入れが行われている。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費削減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に行われている。全20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを生かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組みによる経費削減を図るとともに、その剰余金を児童用図書、遊具等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者に還元している。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
(評価の理由) 毎月のたよりの発行やホームページでの周知など、施設・事業の周知のための広報を定期的に行っている。日頃から利用者や保護者とのコミュニケーションが保たれ、特別な配慮を要する利用者への対応も適切であり、良好なサービスの提供が図られている。こども文化センター運営協議会及びわくわくプラザ保護者懇談会を定期的に開催し、意見交換や情報提供を適切に行っている。東百合丘こども文化センターでは、「夏フェス2013」における日本体育大学のダブルダッチサークルとの連携による体験指導やわくわくプラザにおける長沢中学校演劇部との連携による毎月の読み聞かせや演劇を行っており、さらに、千代ヶ丘こども文化センターでは、麻生高校、金程中学校、高石保育園と連携し、乳幼児親子と交流する「ミックスジュース」の実施や、近隣の老人福祉施設などで普段練習を重ねているダンスを披露するなど、各こども文化センターでは、異年齢交流や学校等と連携した特色ある事業が実施され、児童等利用者の交流施設としての機能の向上が図られている。意見箱、アンケート、子ども運営会議などによって利用者及び地域のニーズを把握するとともに、意見は行事の実施や図書、遊具等の購入などに活かされるなど、利用者ニーズを事業運営に反映させ、改善を行う取組みが行われている。					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
(評価の理由) こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置され、利用児童数や特別な支援を必要とする児童などの状況に応じて、適切に加配がなされており、円滑な事業運営が行われている。市主催の研修への参加や市民活動センター全体、区、グループ、各施設単位で各々、計画的に研修を実施するなど、職員のスキルアップを図っている。個人情報保護マニュアルと管理体制が整備されており、個人情報の取扱いが適正に行われている。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
(評価の理由) 施設整備の保守点検や必要な補修工事が実施されており、備品の管理も適切に行われている。日常的な安全点検の実施や救命講習の受講など、安全・衛生管理に適切に取り組んでいる。また、安全管理に関する研修、事故を未然に防ぐため事例検討会、熱中症予防のための熱中症暑さ指数確認など、利用者の安全確保に積極的に取り組んでいる。災害発生時に備え、対応マニュアル等が整備されており、適切に消防訓練等が実施されている。非常食、保存水、乾パンを追加購入し、備蓄を充実させるとともに、飛散防止フィルム、遮光・防災カーテンの設置を行うなど安全性を高め、防災対策の強化に努めている。					

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

長年にわたって蓄積された市民活動への援助等の経験や指定管理期間以前からこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を活かすとともに、全市53施設の指定管理者としてのスケールメリットを活かした区8館合同事業「麻生キッズフェスティバル」の開催や職員研修の実施、及び経費削減への取組等を行いながら、事業の推進、サービスの提供が図られている。
また、経費削減による剰余金を積極的に活用して、備品の購入や施設の整備・改善に充て、利用者還元し、サービスを向上させている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキルの向上を図るとともに、利用者にとって各施設がより地域に根付いた居心地のよい場所になるよう努めていただきたい。